

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院に、がん性疼痛に対して入院中にオピオイド鎮痛薬を使用したことのある患者さんへ

和歌山県立医科大学麻酔科講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

オピオイド誘発性便秘症の予防下剤の使用でも便秘を発症する患者のリスクファクターを調査するための後ろ向き研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学麻酔科学講座 講師 栗山俊之

3. 研究の目的

がん性疼痛のある患者で強オピオイド鎮痛薬を使用するが、それによる副作用でオピオイド誘発性便秘症が出現します。緩下剤の予防的使用が推奨されているが、それでも便秘に悩まされる患者が多いため、便秘が出現しやすい患者のリスクファクターを調査します。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2012年1月から2023年1月までの入院中に、がん性疼痛に対してオピオイド鎮痛薬を使用した方。
オピオイド鎮痛薬とは医療用麻薬とも呼ばれるものです。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、がん種、転移巣、手術歴、Performance Status、BMI、使用したオピオイド鎮痛薬の種類、投与量、使用した緩下剤、オピオイド鎮痛薬開始後の1週間での排便回数、オピオイド鎮痛薬によるその他の副作用です。

(3) 方法

診療情報を後ろ向きに抽出した観察研究

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんにはご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合にこれを拒否する権利があります。その場合は下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合も、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

なし

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学麻酔科学講座 担当医師 奥田有香

TEL : 073-447-2300 E-mail : yuuka-o@wakayama-med.ac.jp